

ディボーション質問表



預言は2部になっており、第一部同時代への預言（1～8章）、第二部未来に関する預言（9～14章）に分けられます。その中で7章、8章はエルサレムの回復について述べています。

11日（月）ゼカリヤ書 7：1～14 真の断食

1. エレミヤの預言が成就して70年が過ぎようとしていました（1～3節）。人々は自分たちの国がなくなったことを嘆き、また悔い改めのために定期的に断食をしていたようです。そこで人々は自分たちのやっていることは意味がないように思えてきたようです。これに対する神様の答えは何ですか？断食の意味は何でしょう（4～9節）？
2. 悔い改めることや、正しいことをすることが時に苦しく思えることがあります（11～14節）。
→ 私に頑なで高慢で怠惰な思いはないだろうか？

12日（月）ゼカリヤ書 8：1～23 エルサレムの栄光

1. 2～8節を読んで神様はどのような性質を持ち、どんなお方ですか？
2. 神様は裁きを終え、彼らを回復しようとされています。人々はどのように生きるように勧められていますか（16～19節）？これから受ける祝福は周りの人にとってどのようなものですか（23節）？
→ イエス様が十字架で裁きを受けられました。私たちはこのイスラエルとユダの家と同じ立場です。私たちは互いに真実を語っているだろうか？私のモラルは高基準だろうか？真実と平和を愛しているだろうか？周りがうらやましがらるほど神様の祝福を体感しているだろうか？

13日（月）ゼカリヤ書 9：1～17 メシアの来臨

1. ここに出てくる国の名前は隣国です。かつてダビデ王朝だった頃はイスラエルが支配していた国々です。将来神様がこの国々を支配し、かつての栄光を回復することを伝え、神殿が建て終わった後も続いた様々な困難に対し希望を与えました。そして預言はアレキサンドロス大王が征服したとき成就しました。
→ 私たちの神様は歴史に介入される本物の神様であることを知り、私と今日一日共に居られることを自覚しているだろうか？
※9節はイエス様が十字架に架かる前、イスラエルに入られるとき成就しました。そしてその行為はイエス様が再び来られ、この地を治める王として来られるひな型となりました。
2. 11節はアブラハムの契約を表し、それを血の契約として述べるのは、イエス様の十字架をゼカリヤが見たからかも知れません。アブラハムの契約は無条件の祝福の契約です。その内容はどのようなものですか（11～17節）？
→ イエス様の救いを受けた私に素晴らしい祝福と守りが与えられていることを知り、喜んで生きているだろうか？

14日（月）ゼカリヤ書 10：1～12 イスラエルの回復

1. イエス様の十字架によってあがなわれた私たちに牧者がいない時代が終わり、イエス様という良い羊飼いのもとで暮らす生活が始まります（2～3節）。
→ イエス様以外の牧者はいないだろうか？嫌な指導者のもとでも必ず神様があがなうくださると信じてとりなしているだろうか？
2. 神様ご自身が牧者である民はどのような約束がありますか（7、12節）？

15日（月）ゼカリヤ書 11：1～17 神のさばき

1. 神様によって牧される民の中心となる性質は何ですか（7節）？
→ 私の教会の中心にある性質はなにだろう？私の性質の中心は何だろうか？
2. 11章はユダの裏切りによって成就しました。15節にあるようにユダヤはむなしい指導者によって導かれ、ローマ帝国によって滅ぼされました。神様ではない牧者の性質は何ですか（15～17節）？

16日（月）ゼカリヤ書 12：1～14 エルサレムの救い

- 12章から「主の日」について語ります。それは終末のことです。
1. ゼカリヤは神様をどのように形容しますか（1節）？この方はこの世の最後も治められます。
 2. 7～10節は、イエス様によってあがなわれた私たちへの言葉です。イエス様によってこの世のものでない神の国が建てられました。私たちにどのような霊が注がれましたか（10節）？
→ 今日示されたとりなすべき項目は何だろうか？